

創立73周年
令和5年度11月号



咲かせよう大正の花

つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



食育の秋

園長 北村 恵

先日の運動会では、休日にも関わらず、小学校の先生方やPTA役員の皆様にも朝早くからお手伝いいただきました。また、本園PTA役員や大園男の皆様のご協力もあり、無事に運動会を開催することができました。大正幼稚園ならではのつながりで、皆様にご尽力いただいていることに、この場をお借りして心から御礼申し上げます。

当日は天候にも恵まれ、子供たちは伸び伸びと日頃の成果を発揮することができました。運動会の最後に大きな円になって、ご来賓の皆様を含めた来場者全員で踊ったタタロチカでの皆さんの笑顔が心に残っています。

保護者アンケートからも、子供たちの成長を感じていただき、大正幼稚園が日々の教育で大切にしていることを受け止めてくださっている様子が伝わりました。その一部を紹介します。「ぞう組のリレーは迫力があり、最後まであきらめずに必死に走る姿は声を出して応援したくなる気持ちにさせられました」「リレーで、負けて悔しくて泣いている子供を見て、悔しい気持ちをバネにして今後成長できる、勝ち負けも大事な経験であると思いました」「年中・年長の競技は、難しそうなのが多かったのにも関わらず皆、何度も挑戦し、お友達を応援し、素晴らしいと感じました」「『みんな同じも』も大切ですが、それ以上に『違い』も大切にしてくださっているのがあります」「目標に向かって工夫をし、努力する姿に成長を感じました」「競技の片付けや準備など学校の先生たちが本当に速くて何から何までスムーズでした」等、たくさんの温かい言葉をいただき、私たち教職員もとても嬉しかったです。

保護者の方やお客様にたくさん褒めてもらった子供たちは、運動会前よりも自信に満ち溢れています。そして、さらに苦手なことにも挑戦しようとする姿が見られています。

大正幼稚園は秋にたくさんの果物が実ります。先日もぞう組が姫リンゴをたくさん収穫してくれました。幼稚園の姫リンゴは大きく、味もリンゴに負けていません。そこで今年は、4・5歳児に一人一つのリンゴを渡し、自分でクッキングペーパーで磨いてピカピカにしてから、丸かじりに挑戦してもらいました。最初はどこから食べていいのか分からず戸惑っていた子供もいましたが、友達の様子を見ながらひとかじりすると、真ん中の芯だけ残して食べられた子供がたくさんいました。学級で育てていたピーマンの油いためや、10月の誕生会で紹介したレンコンのきんぴらも「苦手だったけど、食べてみたらピーマン甘くて美味しかった！」「シャキシヤキしてレンコン美味しい！」と、味わった感想をたくさん聞くことができました。

2学期からは、お弁当給食の時に、その日のお弁当に入っている食品を、写真を使って各学年で紹介しています。年齢により、食品の名前を知り興味をもったり、3つの食品群を知ったりしています。毎日の食事に興味関心をもち、自分から食べようとするこも、基本的な生活習慣の自立に向けての大切な要素と考えています。